

令和2年度

福山大学大学院薬学研究科(博士課程)

学 生 募 集 要 項
推 薦 入 試

福山大学大学院薬学研究科

令和2年度 福山大学大学院薬学研究科

博士課程推薦入試 学生募集要項

1. アドミッション・ポリシー（入学者受け入れ方針）

福山大学薬学研究科は、医療に貢献できる高度の知識と実践力を身に付けた、高い研究能力を有する人材を養成することを目指し、科学的思考力と探究心を備え主体的に学ぶ態度をもって、次のように積極的に専門分野の研究に取り組む人を受け入れる。

1. 医療に関する諸問題を広く考究し、専門分野の研究を通して医療の進歩や学問の進展に寄与できる人。
2. 実社会において薬剤師など医療技術者として活動し、知識と実践力を高め、研究能力を磨くことのできる人。
3. 医療の現場において必要な医療人としての倫理観を養い、良好な対人関係能力を有する人。

(HP 参照 : <http://www.fukuyama-u.ac.jp/grd-pharm/outline/policy.html>)

2. 募集人員

取得学位	専攻	募集人員
博士（薬学）	医療薬学専攻	若干名

3. 出願資格

次の各号のすべてに該当する者とする。

- (1) 令和2年3月に本学薬学部を卒業する見込みの者
- (2) 学業成績、人物ともに優れ、研究室担当教員が責任を持って推薦できる者

4. 出願書類

次の書類を添えて、本学薬学部事務室（11号館1階）に持参するか、簡易書留郵便で出願期間内に必着するよう郵送してください。

1. 入学願書・受験票（本学研究科所定のもの）
2. 卒業見込証明書（本学において作成し、厳封したもの）
3. 成績・単位修得証明書（本学において作成し、厳封したもの）
4. 推薦書（本学研究科所定のもので、研究室担当教員が作成し、厳封したもの）
5. 健康診断書（本学研究科所定のもので、平成31年4月以降に病院または保健所等で受診し、医師が作成・証明したものを提出してください。但し、福山大学健康診断証明書をもって替えることができます。）
6. 志望理由書（本学研究科所定のもので、1,200字程度にまとめたもの）
7. 写真2葉（縦5cm×横4cm）

最近1ヶ月以内に撮影した上半身・正面・脱帽の写真を入学者及び受験票に貼付してください。

8. 振込取済済証明書（検定料の納付書：本学研究科所定のもの）

5. 出願期間

令和2年2月13日（木）から令和2年2月26日（水）【期間内必着】

※出願書類を持参する場合の受付は、9時30分から16時までとします。

但し、土曜日の受付は、9時30分から12時までとし、日曜日・祝日の受付は行いません。

6. 検定料 30,000円

本学研究所定の振込依頼書で銀行振込みし、「振込取組済証明書」を出願書類とともに提出してください。

7. 入学試験【入学者の選抜は、面接試験の成績及び出願書類の内容を統合して行います。】

- (試験日時) 令和2年3月5日(木) 13:00～
(試験場所) 福山大学薬学部12号館1階大学院講義室
(試験科目) 面接試験

8. 合格発表及び入学手続

- (合格発表) 令和2年3月12日(木) <薬学部事務室前掲示板へ掲示及び本人宛通知>
(入学手続締切日) 令和2年3月23日(月)

9. 注意事項

- (1) 受験者は、受験票を入学試験当日に持参すること。
(2) 一度提出した出願書類及び検定料は理由の如何を問わず返却しません。
但し、諸納入金納入後に入学を辞退する場合は、令和2年3月25日(水)までに申し出た場合
に限り、入学金を除いた額(授業料・学友会費・後援会費)を返還します。

10. 学納金(参考：平成31年度入学生分)

費目	納入時期	前期納入	後期納入	合計
入学金		200,000円 ^{※1}	—	200,000円 ^{※1}
授業料		650,000円 ^{※2}	650,000円 ^{※2}	1,300,000円 ^{※2}
実習費		50,000円 ^{※1}	—	50,000円 ^{※1}
計		900,000円	650,000円	1,550,000円

(受託徴収金)

学友会費	5,000円	—	5,000円
後援会費	10,000円	—	10,000円
計	15,000円	—	15,000円

※1 本学薬学部卒業生が博士課程に進学する場合、入学金及び実習費は全額免除となります。

※2 本学薬学部卒業生が博士課程に進学する場合、授業料は、年額780,000円となります。

11. 個人情報の取り扱いについて

本学では、出願時に収集した個人情報(住所・氏名・生年月日等)を、入学試験実施、合格者発表、入学手続及びこれらに付随する業務のために「福山大学個人情報管理基本方針」の定めるところにより取り扱います。その際、当該個人情報の漏洩・流出・不正利用等がないよう、必要かつ適切な管理を行います。

12. 障害のある受験生への支援について

障害のある学生の受験及び入学後に必要となる支援については、相談窓口「学務部教務課」にお問い合わせください。

学務部教務課 084-936-2112 (内線2210, 2213)

13. 問い合わせ先及び出願書類提出先

募集要項等に関する問い合わせ及び出願書類の提出先は、「福山大学薬学部事務室」まで

14. 研究内容 (平成31年4月時点)

教 員	研 究 内 容
<p>分子薬学コース群</p> <p>石津 隆 教授 町支 臣成 教授 井上 裕文 教授 鶴田 泰人 教授 秦 季之 教授 藤岡 晴人 教授 森田 哲生 教授 小嶋英二郎 教授 上敷領 淳 准教授 本屋敷敏雄 准教授</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生体による薬物分子認識機構の解明 -薬物分子と生体内タンパク質との相互作用の解明- ○ アルカロイド系天然有機化合物を基盤とする創薬研究 ○ 電子環状反応を活用する生理活性含窒素天然物・複素芳香環合成への展開と活性評価 ○ タンデム型環化反応による生理活性天然物・複素環合成とリード探索研究 ○ 生理活性天然物・複素芳香環の新規合成から活性構造評価及び医薬素材探索研究 ○ 分析試薬の開発に関する研究 ○ 生体成分の分析に関する研究 ○ 医薬品の分析に関する研究 ○ 酵素反応速度論と計算化学の相補的利用による酵素反応機構の解析 ○ 分子シミュレーションによるリガンド-タンパク質複合体の解析 ○ 植物内生菌 (エンドファイト) と宿主植物の共生関係の解明 ○ 生物活性天然物質の探索及び高付加価値物質への生物化学的変換 ○ 機能性を有する大環状ポリアミン化合物のデザインとその合成 ○ 生理活性天然物の合成と活性評価系を利用した医薬品リード化合物の探索研究 ○ 脂質など物質代謝学 ○ 癌など細胞の増殖に関する研究 ○ 細胞膜における物質の移動及び認識に関する研究 ○ 血液成分分析に関する研究 ○ 血液型物質に関する分子生物学的研究 ○ 同位体トレーサー法による薬物の体内動態の解析に関する研究 ○ RIA及びRRAによる蛇毒液中の生理活性物質の探索に関する研究
<p>病態制御学コース群</p> <p>井上 敦子 教授 江藤 精二 教授 片山 博和 教授 田中 哲郎 教授 田村 豊 教授 今 重之 教授 道原 明宏 教授 渡邊 正知 准教授 五郎丸 剛 准教授 大西 正俊 准教授</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中枢末梢神経系における生理活性物質の分子機能的動態と作用に関する研究 ○ 生体炎症性反応機構と関与する生理活性物質の作用動態に関する研究 ○ 脳神経変性疾患に関する研究 ○ 抗がん剤による副作用の軽減化に関する研究 ○ がん化学療法の適正化に関する研究 ○ ジェネリック医薬品の品質評価 ○ 抗てんかん薬の体内動態及び投与設計 ○ 薬物の経肺吸収 ○ 抗癌剤を含有する高分子治療剤の合成と評価 ○ 高度な機能を有する高分子化医薬の設計と評価 ○ 能動輸送機構を介する標的指向性プロドラッグの合成と評価 ○ ハムスターの冬眠制御機構解明に関する研究 ○ 神経障害性痛覚過敏の発現機序解明に関する研究 ○ モルヒネの耐性形成機序解明に関する研究 ○ タンパク質翻訳後修飾機構の異常と脳神経疾患の関連性に関する研究 ○ 多糖類の薬物放出制御製剤材料としての利用に関する研究 ○ ドラッグ・デリバリー・システムへのリボソームの応用研究 ○ 医薬品および製剤用添加剤の抗酸化能に関する研究 ○ ペプチドの製剤応用に関する研究 ○ がん、自己免疫疾患、線維化疾患の増悪化における細胞外基質と細胞間接着機構の解明 ○ 新たな細胞接着抑制能を有する抗体や生体内物質の創出と治療薬への発展 ○ インテグリンを介する接着の免疫細胞に及ぼす機能解明 ○ 脳卒中発症機構に関する研究 ○ コレステロール合成経路の解明

<p>社会環境薬学コース群</p> <p>赤崎 健司 教授 岡村 信幸 教授 杉原 成美 教授 佐藤 英治 教授 長崎 信浩 教授 前田 頼伸 教授 猿橋 裕子 准教授 田淵 紀彦 准教授 山下 純 准教授</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ リソソームおよびメラノソーム形成機構に関する研究 ○ 抗原提示細胞に局在するリソソーム膜タンパク質の構造と機能 ○ DNAワクチンの基礎研究 ○ 筋分化の制御に関わるタンパク質の機能解析 ○ 漢方薬と腸内マイクロバイオーームとのクロストークに関する研究 ○ 腸内代謝における薬物相互作用に関する研究 ○ 複合成分系薬物としての漢方薬の有用性の解明 ○ 炎症性疾患の免疫系に及ぼす漢方薬の効果に関する研究 ○ 薬物輸送タンパク質に及ぼすフラボノイドの影響 ○ トランスポーターを介したコレステロールの吸収機構 ○ 地域薬局の機能～セルフメディケーションの支援と在宅医療における役割～ ○ 薬物治療に関する臨床薬学的研究 ○ 薬学教育および薬剤師の職能向上に関する実践的研究 ○ 生体の低酸素応答に関する研究 ○ 生活習慣改善という患者・生活者自身の行動変容に向けて薬剤師ができる支援に関する研究 ○ 要指導・一般用医薬品添付文書の理解度および適正使用を向上させる要因についての研究 ○ 抗生剤適正治療と院内感染対策の実践についての研究 ○ 緩和ケアの現状と発展性に関する研究 ○ 腸内細菌を考慮した耐性菌対策の開発 ○ 医薬品による副作用発現機序の究明 ○ 既存医薬品の有効性を向上させるプロドラッグの開発 ○ 保険薬局に来局した高齢者の健康食品の摂取行動と生活習慣の研究 ○ 透析患者の残薬とその要因の研究
---	---